

西福寺寺報 **道** - michi -  
2026 (令和8) 年 だろおとし号

あたたかな すみきった 大いなる まなざし  
— 仏さまのまなざし —  
まなざしの 中に すっぼり と つつまれている わたし  
— あたたかい な — (波北彰真『人生のほほえみ』)



浄土真宗本願寺派  
(本山：西本願寺)

多聞山

西福寺

〒739-0152  
東広島市八本松町吉川153-2  
TEL: 082-429-1038  
FAX: 082-429-1398



仏教婦人会月例法話会  
(お寄り講 13:30~15:00)


6月17日(水)  
西福寺庫裏 (お世話：横野)  
7月6日(月)  
西福寺庫裏 (お世話：下野原)  
8月お休み

お経会 (大人の寺子屋)  
(毎月第3木曜日 13:30~15:00)

『正信念仏偈』を読む  
6月18日  
7月16日  
8月お休み  
9月3日(第1木曜日)

(今回の法座)  
だろおとし法座

6月 9日(火) 昼席 (13:00~15:30 ころ)  
夜席 (19:30~21:00 ころ)  
10日(水) 朝席 (09:00~11:30 ころ)  
昼席 (13:00~15:30 ころ)

ご法話	恩 — 為されたことを知る —
講師	菅 知尚さん (竹原市下野町 宝泉寺)  宝泉寺住職です。お寺には、午前9時から午後5時まで、いつでもお参りいただけます。ぜひ遊びに来てください。モットーは「みんなの宝泉寺」です。

YouTube でのお聴聞は、下の QR コードですぐにできます。

9日昼席



9日夜席



10日朝席



10日昼席



オアシス法話会  
(毎月第4木曜日 13:30~15:00)

『仏さまの言葉を生きる』  
6月25日  
7月23日  
8月お休み  
9月24日

土曜学校  
(毎月第2土曜日 9:00~10:00)

6月13日  
7月11日  
8月22日(第4土曜日)  
夏の寺子屋  
9月12日

最初の一步

はじめての法座ガイド (初参拝の方へ)

- 服装自由・手ぶら OK (聖典/念珠/門徒式章があれば)
  - 1席のみ・途中入退堂 OK / イス席あり/焼香は周りをみながらでも大丈夫
  - 配信の見方も含め、困ったらお気軽にお問い合わせください。
- ※お布施(ご法礼)のお預けは任意です。

寺報を読み終わった後は、しまい込まないで、ご家族みんなでご覧ください。子どもさん、お孫さん世帯など用に2部以上必要な方は、お知らせください。

お寺だより  
法座

5月19・20日  
宗祖親鸞聖人降誕会法座

【ご法話】「いま、ここ、わたし」徳平亜紀さん（愛媛県宇和島市 徳正寺）

【おつとめ】（19日昼）『三奉請』『表白』『正信念仏偈』

（19日夜）『しんじんのうた』『20日朝』『正信念仏偈』『20日昼』『正信念仏偈』

【参拝者】44名（4席のべ人数）

【ご法話】19日昼席（ご法話要約）  
ご讚題

慈光をはるかにかふらしめ  
ひかりのいたるところには  
法喜をうととぞのべたもふ  
大安恩を帰命せよ  
（浄土和讃） 讃阿弥陀仏偈讚

親鸞聖人は、「阿弥陀さまのご苦勞、おはたらきをようよう思わせていただいたら、この親鸞一人のためだったなあ」と、常におっしゃっておられたと言われます。親鸞聖人は阿弥陀さまのみ光に照らされて、ご自身のことを、悪人も悪人、救われがたい悪人であった「凡夫」であったと厳しく見

られて、「この私にこそ、阿弥陀さまのはたらきは届いてあったんだ」ってよろこばれたんです。私たちは自分をちよっと、いいふうに見がちですけれども、阿弥陀さまの目にはどんな姿が映ってくるかということ、親鸞聖人は教えてくださってたんじやないでしょうか。「あなたの方では決して仏さまにはなれっこないよね。ひとつだって功德も積むことができないんだからね」って。その煩惱にまみれた私に処方してくださるお薬は、「南無阿弥陀仏」のたった六字なんです。「声が出なくてもええよ。私の方からあなたのところへ飛び込んでおるからね」って。

お浄土の蓮の花は、それぞれに違った色で光輝いている。私たちもみんな違います。「その命、輝かせてちょうだいね」って、阿弥陀さまがお浄土から光を放って、私を照らし、輝かせてくださる。そんなふうにご教えてくださるんじゃないでしょうか。

今日のご和讃の「慈光」っていうのは阿弥陀さまのみ光です。「はるかに」は時間を超えて、空間を超えて。「かむらしめ」はすべての世界を照らし尽くす。阿弥陀さまのみ光は「いつでも」「どこでも」「みんな」を照らし尽くしておってくださるよということ。じゃあ、そのみ光の一筋の至るところはどこなのか。この「至る」という漢字の成り立ちを調べたら、弓矢の矢がヒューンと飛んできて、地面に突き刺さった絵なんだそうです。だから矢はここ一点に刺さるんですね。「いつでも」と言われたら「いま」と思ってください。「どこでも」と聞いたなら「ここ」って思ってください。「みんな」と聞いたなら「ああ、この私なんだなあ」って思ってください。「阿弥陀さまのみ光の目当ては『ここ』だったんだよ」っていうことを、このご和讃で教えていただけるんじゃないでしょうか。

暗い夜道は不安です。人生のこの先も不安なことがいっぱいあります。だけれども、阿弥陀さまが大きな安らぎと安心と慰めとなってくださいませんか。

- と。私の父親がね、臨終間際によく教えてくれたんです。私は島根県の生まれでして、縁あって愛媛のお寺へお嫁に行かせてもらったんです。父は平成15年の5月に、肝臓の病で亡くなったんです。4月に入院をして、5月に今生の命を終えていきました。65歳でありました。私もたまたま看取ることができたんです。その最後の姿に教えていただいたんです。
- 父は入院中に「あのの、肝がめげてのう」と言っていたんですよ。「先生に教えていただきたい。肝臓っていうものは、体の毒をきれいにしてくれる臓器なんよ。だけれどそれが壊れたもんだから、体の毒が体中に回って、こんなにしんどくなるんだって。わしはの、65年間、肝臓やら腎臓やら心臓を腹の中へ据えとったが、これがこんなのはたらきをしてくれとると、ひとつも知らんこうに生きとったのう」って。病気になるって初めてそのことに気がついたって話してました。そして、「あ
- 一、おつとめ  
19日昼席 『正信念仏偈』  
夜席 『しんじんのうた』
  - 二、20日朝席 『正信念仏偈』  
昼席 『正信念仏偈』
  - 一、『浄土真宗の教草私の歩む道』
  - 一、『教義』『生活』『宗門』
  - 一、『聴聞の心得』
  - 一、ご法話前半（約30分）  
（休憩10分）
  - 一、仏教讃歌
  - 一、『衆会』
  - 一、ご法話後半（約30分）  
※夜席は約40分（休憩なし）
  - 一、『浄土真宗の救いのよろこび』
  - 一、『恩徳讃』

YouTube saifukuji\_inweb 最新情報 2026 05/21 現在

登録者数	視聴回数	総再生時間
663	127,143 回	20,080.5 時間

宗祖親鸞聖人降誕会法座アーカイブ



5/19 昼席



5/19 夜席



5/20 朝席



5/20 昼席

どろおとし法座次第

のの。体の毒はそれでも、治療やらお薬とかで、きれいなことになるかも知れぬが、心の毒というものは、死ぬるが死ぬるまで、この身からもこの心からも離れることはないけえのう」と言っていました。後から、「ああ、これは親鸞聖人のお言葉を話してくれたんだ」と思っただんです。

「心の毒」っていうのは「煩惱」のことです。朝から晩までずっとその煩惱がこの私の体に満ち満ちておつて、命が死ぬるまで離れることはないんだなあって。父は5月に入ってから悪くなる一方で、厳しい状態でありましたが、ついに「今晚がわかりませんよ」と言われましました。「じゃあ、お父さんと一緒に最後のお勤めを勤めさせてもらおう」と思っ

て、私はお正信偈さまを読み始めたんです。父はこれを聞きながら、どういう反応をしてくれたいか、どう思っていますか。実は、顔をしかめてね、「ああ、そがあな難しいことはいええわ」と言ったんです。私はびっくりしたんです。お正信偈さえもはね

けたんです。

でもね、父の様子を見たら、今、父の体の中では生と死がせめぎ合いの真っ最中です。「お正信偈をよろこばせていただきますしよ」と言っても、「今は待ってくれ。もう今、生と死のせめぎ合いの真っ最中なんだ」と、その体が教えてくれたんです。「生きよう」というのが欲の心であるならば、「本当に命が死ぬるまで、この煩惱というものは離れることはないんだ」ということを、その身をもって教えてくれました。だからこそ、阿弥陀さまのはたらきがあったんですね。

父が臨終を迎える少し前に、こんなことをみんなに言ってくれました。「この身、このままで、ありのままの浄土に参らせていただくだけ。安心、安心。みんな待って。安心、安心。お正信偈さえもはねのけてしまいうような、お念仏の一声さえも称えることができない、「生きたい」というのはどこまでいっても尽きることはない、煩惱が離れん「このまんま」であります。そ

のままの私を「必ず救うよ」と。阿弥陀仏があなたを必ず救うよって、「いま」「ここに、煩惱をいっぱい抱えながら生かさせていただいている、この私のところに至り届いておつてくださる。「南無阿弥陀仏」となつて至り届いておつてくださる。そのおはたらきを知らせていただいてるから、「このまんま、そのまま、そのまま救う」と言われる。このままを、阿弥陀さまはお浄土に往生させてくださる。「お浄土へと参らせてもらうだけ。安心、安心」とねえ。父はその病の身から、「本当の安心」ということを教えてくれたような、そんなご縁でありました。悲しいままで終わらせないのが、浄土真宗のみ教えのありがたいところかなあって思われます。

身近な方とのふれあいをとおして、阿弥陀仏のはたらきの力強よさをお聞かせいただきました。19日夜席は、トーク形式の法話です。ぜひ「YouTube (法座配信)」でお聴聞ください。

オアシス法話会

5月14日

【参加者】 8名

【おつとめ】『正信念仏偈』『浄土和讃』『宝林宝樹微妙音』『自然清和の伎楽にて 哀婉 雅亮すぐれたり 清浄染を 帰命せよ』より6首 『御文章』『一切の聖教章』『御文章 ひらがな版』172ページ  
【ご法話】「あなたのままで 素晴らしい メチャ頑 張ったで賞」

土曜学校

5月9日

【参加者】 5名

【おつとめ】しんじんのうた(1) 『絵 本』『そらとぶアヒル』 作/内田麟太郎 絵/長新太(童心社) 『まほうつかい のでし』 作/大石真 絵/柳原良平(Gakken) 『ずっとずっと そばにいるよ』 作/やまもとやすひこ 絵/ほんだてつや(芸文社)

安芸教区・東広島組近況

- 5月27日 安芸教区仏教婦人会連盟総会 実践運動前期研修会 (広島市中区 広島別院)
- 5月30日 東広島組仏教婦人会連盟天会リハール (田口 善教寺)
- 6月6日 東広島組仏教婦人会連盟大会 (田口 善教寺)
- 6月19日 東広島組仏教婦人会連盟天会反省会 (田口 善教寺)

住職近況

- 5月13日 東広島組下西条法中ダーナ法座
- 5月13日 安芸教区DX推進部会
- 5月14日 東広島組役員会(原 教順寺)
- 5月21・22日 西蓮寺降誕会法座出講 (志和町七条栴坂)
- 5月25日 宗務の中期計画及び財政改革に関する説明会
- 5月26日 「御同朋の社会をめざす運動」 安芸教区委員会
- 5月28・29日 安芸教区布教団総会・前期研修会
- 6月2・3日 安芸教区総講習会
- 6月6日 浄土寺泥落とし法座出講 (北広島町志路原)
- 6月8日 東広島組組内会(原 教順寺)
- 6月13・14日 法隆寺安居会法座出講 (広島市安佐南区)
- 6月19日 聞光の会(第123回)
- 7月1日 広島市中区 広島別院共命ホール
- 7月1・2日 第4連区布教使研修会
- 7月14日 福山市 ニューキャッスルホテル
- 7月14日 勝龍寺安居会法座出講 (北広島町蔵迫)



オンライン本堂「多聞堂」にお参りください。



心の声をそつと置いて  
いってください  
あなたを「世間の評価」  
から解き放ち、本当の自  
由へと踏み出す場所とし  
て、ホームページ内にオ  
ンライン本堂（ご相談窓  
口）を開設しました。  
あなたのお悩みや不安  
に、住職が仏教のことば  
を添えてご返事いたしま  
す。匿名やニックネームで  
ご相談していただけます。

下のQRを読み  
込んでください。



総代会・世話係合同境内清掃

6月6日(土)  
8:00~10:00 ごろ

雨天の場合は

6月7日(日)に延期

※掃除道具は各自でお持ちよりください。

吉川長寿会の  
みなさまにも  
ご協力いただきます。



仏教婦人会地区役員合同境内清掃

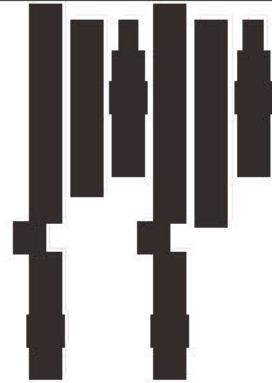
7月26日(日)  
8:00~10:00 ごろ

雨天の場合は中止

※掃除道具は各自でお持ち  
よりください。



生前のご苦勞を偲び  
謹んで哀悼の意を表します。



俱会一処  
浄土での再会を期して

はちす墓苑にお参りされる方へ

現在、墓苑前の道路（県道吉川大  
多田線）で、水道管整備工事が行わ  
れています（2027年2月18日ま  
での予定）。

それにともない、墓苑入り口の通行  
が制限される場合があります。

お墓参りの際には、交  
通誘導に従って、安全に  
ご通行ください。



永

代経とは永代にわたりお経が残り、  
仏法が伝わっていくということです。

「永代経懇志」とは、先人の残し伝えて  
くださったみ教えを聴聞する「聞法道場」  
であるお寺が、永代にわたり存続すること  
を願ってお預けされるお布施のことです。  
今を生きる私たちが、先人から受け継い  
だ教えに出会うためのご縁を、後世に伝え  
るためのお布施です。多くは故人の遺志を  
継いでお預けされますが、事前に預けくだ  
さっても構いません。  
△故人を永代にわたり追善供養してもら  
うためではありません。

永代経懇志

亡夫の志を継いで

ご懇意、衷心より感謝申しあげます。  
これからも、お念仏ご相続ください。

ペットボトルキャップをワクチンに

安芸教区では、ペットボトルキャップを回収し、世界の子どもたちにワクチンを  
届ける運動をしています。みなさまもぜひ、洗浄済みのキャップをお寺に持ってき  
てください。住職が広島別院に届けます。ご協力よろしく願いいたします。





よろしく  
お願い  
いたします。

## YouTube チャンネル 「saifukuji\_inweb」



### こんな方におすすめです！

- 法座にお参りしたいけれど、体調がすぐれず、長時間座ってられない。
- ご法話をもう一度ゆっくりお聴聞したい。
- ご法話に興味があるが、「お寺に行くのはちょっと…」とためらっている。
- 最近、お寺や仏教のことが、なんとなく気になってきた。

まずは配信でご法座の  
雰囲気をご体験してください。

### チャンネルでは ご法座を配信中！

- ご法話だけでなく、お勤めや休憩時間も配信しています。お寺時間を一緒にしましょう。
- 過去のご法座もアーカイブしています。いつでもお聴聞してください。



### 見方はかんたん！

- ① 「YouTube (ユーチューブ)」を開く。
- ② 「saifukuji\_inweb」または「多聞山西福寺」で検索。
- ③ 見たい動画を開く。  
LIVE 配信中の法座は、**LIVE** マークが目印。  
(任意) 登録をすると、更新情報が届きます。  
ホームページでも見られます

右のQR →  
ホームページ内  
YouTube (法座配信)



### お手伝いします！

「見方がわからない」「スマホでうまく開けない」そんなときは、お気軽にご相談ください。一緒にご案内いたします。

★お問い合わせ★  
表表紙の電話番号  
裏表紙の連絡先へ  
(電話・メール・SNS)

### YouTube のお聴聞 (スマホ OK)

☐ 通信料：視聴にはデータ通信料がかかります (Wi-Fi 推奨)

## 「西福寺はちす墓苑」新規区画・門信徒合同墓利用者募集

〔対象〕 西福寺門信徒またはご縁のある方

〔費用〕

【新規区画】 永代使用 (1m × 2m) 30万円～  
永代管理費別/墓石代別

【門信徒合同墓】 永代納骨ひとり 5万円  
(4人以上 20万円)

納骨後は遺骨のお返しはできません。

一時預かりひとり 1万円 (1年間)  
最長 32年間まで。



〔問合せ〕 詳しいご相談、お申し込みはお寺までご連絡ください。

門信徒合同墓

浄土真宗のことば入門 広辞苑編

すきーま【隙間・透き間】

①物と物との間の少しあいている所。すき。あい。源氏物語(空蟬)「几帳のー」。「戸のー」  
②あいている時間。ひま。てすき。いとま。夜の寢覚(4)「さばかりーなかりしをり」  
③乗すべき機会。油断。てぬかり。源氏物語(東屋)「すべていとまたくーなき心もあり」

【『広辞苑第七版』】

今月は「間」と阿弥陀仏の「縁」について味わいます。

親鸞聖人が、9歳から29歳まで修行された比叡山は、最澄によって日本における大乘仏教の中心地となりました。延暦25(806)年、最澄は若い頃から住んでいた比叡山に、唐から持ち帰った経典をもとにした修行道場を整えはじめました。そのひとつが、大乘仏教の戒律により出家者に受戒を与える「大乘戒壇」を設けることでした。なかなか朝廷からの許しが下りませんでした。高弟・光定らの奔走により、ついに弘仁13(822)年、正式に認められました。最澄の入滅から7日後でした。最澄は、自分の悲願が叶えられたことを、知らないままこの世を去りました。

私たちの境界には「間に合わなかった」ことが起ります。その「隙間」に、欲やいかりといった「煩惱」が吹き込み、「むなしさ」となっています。しかし、最澄の生涯はただ「むなしさ」だけだったのでしようか。

さんえん 三縁

(1)「定善義」に述べられている、阿弥陀仏と阿弥陀仏によって救われる衆生との3種の関係のこと。①親縁。衆生が口業で仏名を称え、身業で仏を礼拝し、意業で仏を念じる時、これらを仏は聞き、見て、知り、衆生と仏とは互いに憶念しあうという密接不離の関係にあること。②近縁。衆生が仏を見たいと願えば目前にあらわれるという関係にあること。③増上縁。衆生が名号を称えると、多劫の罪が除かれ、命終わる時には仏や聖衆の来迎を受けて、往生することができるといふ関係にあること。(2)「論註」に述べられている3種の慈悲のこと。①衆生縁。衆生の実体があるときとみて衆生に対して生じる世俗的な慈悲で小悲ともいふ。②法縁。衆生の実体はないが、個体を構成する五蘊の法体は実有であるとする小乗の聖者のおこす慈悲で中悲ともいふ。③無縁。差別の見解を離れた平等絶対の慈悲で初地以上の菩薩や仏のおこす大悲をいふ。

【『浄土真宗辞典』本願寺出版社】

このなかの「増上縁」は、どんな「煩惱」の隙間があっても、むなしく終わらせないとほたらきつづけてくださるご縁です。そして、親鸞聖人は、「不断光仏」ともいわれる阿弥陀仏の断える間のないはたらきこそ、「増上縁」であるとお示しください。南無阿弥陀仏とお念仏を称え、阿弥陀仏の大きな慈悲が、私たちを教え導きくださっているご縁となつて至り届いてくださっていることをよろこばれたのです。

親鸞聖人は比叡山での修行により、自分の心に欲やいかりといった「煩惱」の隙間が起ることをなくすことができました。しかし、

同じく比叡山で修行をされながらも、山を下りてお念仏の教えを説かれた法然聖人と出遇い、ひまなくはたらき続ける阿弥陀仏の大慈悲を聞いていかれたのです。

最澄は「我がために仏を作すことなかれ。我がために経を写すことなかれ。我が志を述べよ」と遺言したといわれています。最澄が比叡山で大乗仏教の中心としていきたいとの願いは、多くの弟子たちに引き継がれました。そして、法然聖人をおして、親鸞聖人に引き継がれていったのではないのでしょうか。

私はこの言葉をおして、「仏教とは、教えに込められている仏の願い、はたらきに私たちが出遇わせていただくための教えなのです」とお聞かせいただきます。

私の側にはつねに「隙間」が起り続けます。間に合わないこともたくさんあります。しかし、お念仏を称えつつ「どんな隙間があろうとも、むなしく終わらせることはないぞ」と絶え間なくはたらき続けてくださる願いをお聞かせいただきます。

隙間があるからこそ、そこには光が入ってきます。私の隙間に、阿弥陀仏の不断光は差し込んでくださっています。お念仏を称え歩む人生は、どんな結果になろうともむなしく終わることのない人生なのです。

今回のまとめ

●私の「隙間」には、「不断光仏」が差し込んでくださる。

●阿弥陀仏のご縁は、私の境界を「むなしく終わらせない」とはたらきつづける「増上縁」。



## 浄土真宗のことば入門 『正信念仏偈』 その67

〔本文〕

建立無上殊勝願 超発希有大弘誓

〔書き下し文〕

無上殊勝の願を建立し、希有の大弘誓を超発せり。

〔浄土真宗聖典 註釈版〕 願浄土真実教行証文類行文類

〔現代語訳〕

この上なくすぐれた願をおたてになり、世にもまれな大なる誓いをおこされた。

〔浄土真宗聖典 願浄土真実教行証文類-現代語訳〕

第8願「設我得仏 国中人天 不得見他心  
智 不至不知 百千億那由他 諸仏国中  
衆生心念者 不取正覚」(他心悉知の願)

たとひわれ仏を得たらんに、国中の人天、他心を見る智を得ずして、下百千億那由他の諸仏国中の衆生の心念を知らざるに至らば、正覚をとらじ

〔願浄土真実教行証文類 浄土真宗聖典註釈版〕16ページ

わたしが仏になるとき、わたしの国の天人や人々が他心通を得ず、数限りない仏がたの国々の人の心を知り尽すことができないようなら、わたしは決してさとりを開きません。

〔浄土三部経-現代語訳〕〔本願寺出版社〕

世尊よ。もしも、かのわたくしの仏国土に生まれた生ける者どもが皆、少なくとも百千億・百万の仏国土に属する生ける者ども心の動きをすっかり知る超人的な読心力(他心通)を持っていないようであったら、その間はわたくしは、〈この上ない正しい覚り〉を現に覚ることがありませんように。

〔浄土三部経(上)〕中村元・早島鏡正・紀野一義訳注(岩波文庫)

私たちは他人の行動・行為をありのままに見て、そこに自分中心の邪見・偏見の眼を入れなければその人の思いや心はある程度、自然にわかります。

また、他の人の会話や言葉をありのままに何のこだわりもなく素直に聞いていれば、その人の考え方や思想もある程度わかります。

でも、それはあくまである程度であり、すべてがわかる訳ではありません。

人間は、自分の心もありのままにわかっていません。自分の心の内面ぐらゐは自分で全部わ

かっていると思っている人がいるなら、大きな思い違いです。

自分の予期したことの無い場面に遭遇した時、こういう時にはどんなことがあっても、こういうことだけは絶対すまいと思っていたことをやったり、何があっても、この言葉だけは口にすまいと思っていた言葉が口から飛び出し、自分の言葉に自分が驚くことがあります。

『歎異抄』の十三条に親鸞聖人と唯円房の会話があります。

あるとき、「唯円房はわがいふことをば信ずるか」と仰せ候ひしあひだ、「さん候ふ(信じます)」と、申し候ひしかば、「さらば、いはんことたがふまじきか」と、かさねて仰せ候ひしあひだ、つつんで領状(承諾)申して候ひしかば「たとへば(まずもって)ひと千人ころ(殺)してんや。しからば往生は一定すべし」と。

この親鸞聖人のお言葉を聞いた唯円房の驚きはいかばかりであったでしょう。長年膝を交えて、み教えをやさしく話してくださった師の言葉とは思えなかったに違いありません。親鸞聖人のおこころがわかっていたつもりの唯円房は、改めて恐る恐る聖人のお顔を見たことでしょう。

親鸞聖人の続きのお言葉を聞いて、唯円房は「ああ、聖人はこのことを教えてくださるためであったのか」と聖人のおこころを感佩されたのです。すなわち、

われらがこころのよきをばよしとおもひ、悪しきことをば悪しとおもひて、願の不思議にてたすけたまふといふことをしらざることを、仰せ候ひしなり。

どれほど深い交わりがあっても、相手の真意を見通す力はありません。

たった一つのことを可能にする道は、三業(身・口・意の行為)の所修、乃至一念一刹那も、疑蓋(私心・私情の思い)雑じはることなき

如来の大悲心に目覚め(信)、「苦悩の群生海を悲憐して、無礙広大の浄信」を、この身にいただく以外に「他心を見る智を得」ることは不可能です。(以下次号)

〔四十八願を語る 上〕藤田徹文著(探求社)

